

2010年7月29日

ベネッセコーポレーション広報部 発信

<にほん日和 アグレッシブエイジの意識に関する調査レポート vol.1>

Over50 のアグレッシブエイジ層で国内旅行の意欲アップ中

～節約疲れ？ 今年の旅行は「近場に」「家族で」「プチリッチ」志向で～

株式会社ベネッセコーポレーションは、活動的な50歳以上の人々「アグレッシブエイジ」の生きがい増大を支援する新規事業「LTV(ライフタイムバリュー)事業」の事業第一弾となる「にほん日和」を2010年9月からスタートします。

この事業スタートにあたって、「にほん日和」編集室では、この7月に首都圏1都3県の50代以上の男女約400名に旅行をはじめとする趣味・生活一般に対する意識調査を行いました。その結果を数回に分けてお届けします。

今回は以下の3つのデータをご紹介します。

- 1)「今後は是非やりたいこと」のトップは男女とも「国内旅行」で近場におでかけ
- 2)「誰と国内旅行に行きたいか?」の問いでは、「家族で」「夫婦で」
- 3)「国内旅行にかかる費用は一人あたり」3万円台

また、各設問については、2009年に同じく首都圏1都3県の50代以上の男女約2,000名を対象に行ったアンケートの結果と比較も行っています。(ただし、サンプル数の差が大きいため、年度比較については基本的には参考値としてご覧ください)

<調査概要>「アグレッシブエイジの意識に関する調査」

◇対象	首都圏(1都3県)在住の50～64歳の既婚者		
◇形式	webを使ったアンケート		
◇期間	2010年7月	2009年3月	
◇人数	400名(男性200・女性200)	1994名(男性1004、女性990名)	

1)「今後やってみたいこと」のトップは「国内旅行」で、近場に注目

Q:今後やってみたいことは?(複数回答・上位5つ)

2010 順位	男女合計		男性		女性				
	比率(%)		比率(%)		比率(%)				
	2010	2009	2010	2009	2010	2009			
1位	国内旅行	54	51	国内旅行	52	47	国内旅行	57	54
2位	海外旅行	47	44	海外旅行	42	41	海外旅行	52	47
3位	ウォーキング	27	31	ウォーキング	28	29	観劇	31	32
4位	音楽鑑賞	26	26	音楽鑑賞	28	23	ウォーキング	26	33
5位	観劇	22	24	山登り・ハイキング	25	23	音楽鑑賞	25	30

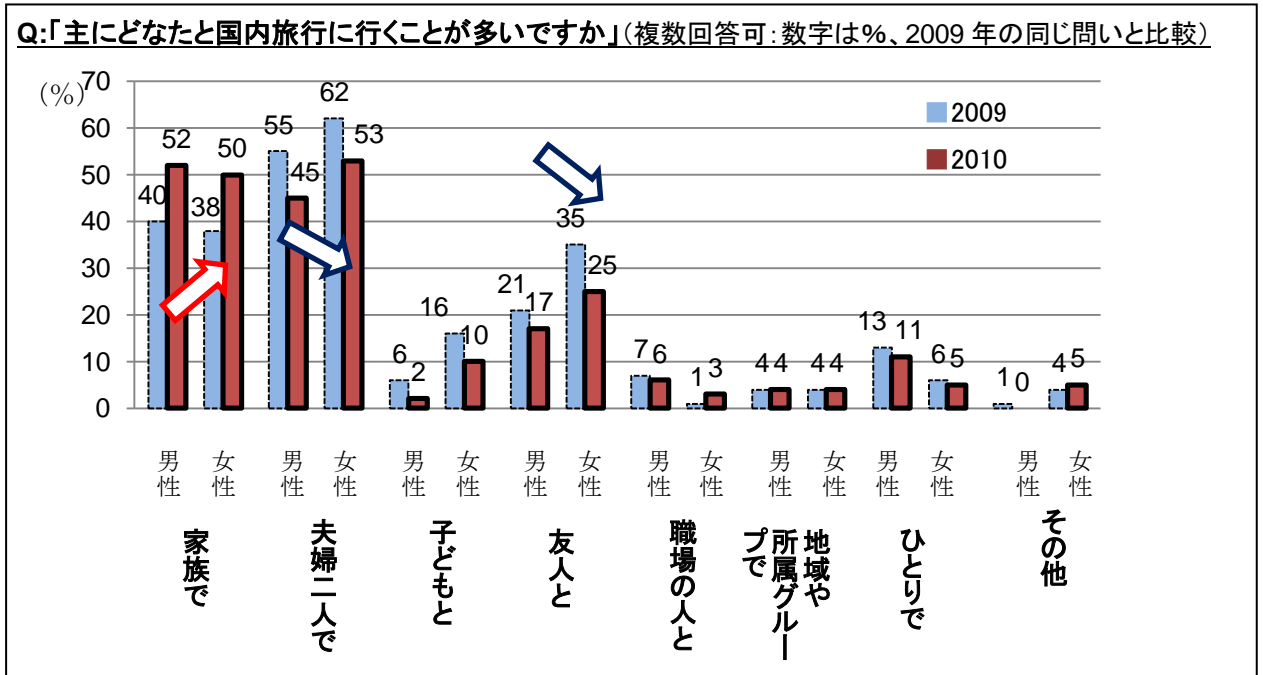
合計・男性のみ・女性のみそれぞれで「国内旅行」がトップ(かつ2009年と比較しても上昇)という結果になりました。

* 選択肢は、<国内旅行、音楽鑑賞、海外旅行、ドライブ、ウォーキング、園芸・ガーデニング、美術館・博物館巡り、料理、スポーツ観戦、写真・ビデオ撮影、美術鑑賞、ゴルフ、観劇、山登り・ハイキング、サイクリング、手芸・洋服作り、楽器演奏>

奏・コーラス、釣り、スキー・スノーボード、ジョギング・マラソン、テニス、水泳、鉄道、ダンス、美術品収集、絵画制作、陶芸、文芸創作、特になし、その他>の合計 30 から選択。

2) 国内旅行に行く相手は「家族」「夫婦で」が上位に

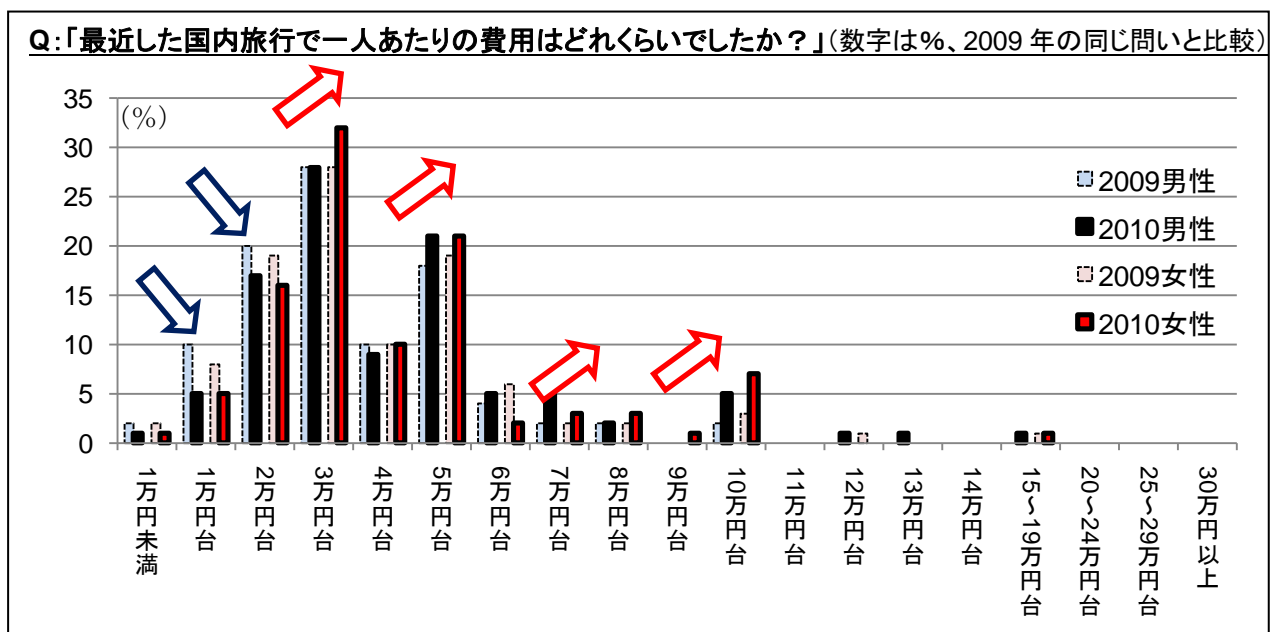
さらに 2009 年との比較では 2010 年は「家族」>「夫婦」の志向あり



今後やってみみたいことで、トップだった「国内旅行」では、「旅行には誰と行くことが多い？」と質問したところ、2010 年のデータでは「家族で」「夫婦で」という回答が圧倒的でした。

さらに、これを 2009 年のデータと比較してみると、「家族で」という回答が男女とも伸び、「夫婦二人で」「友人と」が減少していることが目を引きます。

3) 国内旅行にかかる費用は一人あたり「3 万円台」、過去比較では費用が増加傾向



国内今年の結果では男女とも「3 万円台」がもっとも多い結果となりました。また、2009 年と 2010 年でデータを比較したところ、「2 万円台」以下の回答が減少し、「5 万円台」~「10 万円台」

で増加傾向にあります。

前ページのグラフを数値で示したのが以下の表です。

(数字:%)	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円台	4万円台	5万円台	6万円台	7万円台	8万円台	9万円台	10万円台	11万円台	12万円台	13万円台	14万円台	15～19万円台	20～24万円台	25～29万円台	30万円以上
2009 男性	2	10	20	28	10	18	4	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
2010 男性	1	5	17	28	9	21	5	5	2	0	5	0	1	1	0	1	0	0	0
2009 女性	2	8	19	28	10	19	6	2	2	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0
2010 女性	1	5	16	32	10	21	2	3	3	1	7	0	0	0	0	1	0	0	0

* 数値は四捨五入しており、合計 100 にならない場合があります。

4)まとめ :50 代以上の男女で「国内旅行」への注目度アップ

◇50 代以上の男女では「国内旅行」への注目度が高いことがわかりました。国内旅行へは「夫婦で」行きたいと考える層が多いことから、二人で楽しみやすい手軽なレジャーとして「国内旅行」が注目されているのではないかと考えられます。

◇一方で「国内旅行」については、行きたい形態では「家族で」が上昇するなど「大所帯化」傾向にあります。この「大所帯化」傾向にも関わらず、予算面でも一人あたり 3 万円台がメインで、ここを境に低価格帯が減少、高価格帯が上昇する傾向にある「プチリッチ化」の傾向が見えます。

◇上記の傾向から、50 代以上の男女では、手ごろなレジャーとして「国内旅行」への関心が高まっており、そこへの投資意欲も高まりつつあると考えられます。長い不景気で「節約」を強いられてきたものの、ここに来て「節約疲れ」が出たのか、元々貯蓄もある 50 代以上では、ちょっとした贅沢として家族や夫婦で気軽な国内旅行を楽しむ層が増加していくのではないのでしょうか。

5)「にほん日和」編集部より

株式会社ベネッセコーポレーションでは、活動的な 50 代以上の男女(アグレッシブエイジ)の国内旅行への関心に注目し、2010 年 9 月から「にほん日和」を創刊します。

「にほん日和」では、毎月、①日本国内のいろいろな地域の食や自然、歴史や祭りなどの魅力を紹介するヴィジュアル雑誌、②特産品の食べくらべセットなど地域の「特産フーズ」の付録、③「ポケットガイド」や「全国いいところマップ」などの付録、という 3 点をお客様のご自宅に直送し、日本の「地域」の魅力を紹介し、アグレッシブエイジの国内旅行への関心にこたえていきます。

◆「にほん日和」web : <http://ltv.benesse.ne.jp/nihon/>



【本レターに関するお問い合わせ先】

株式会社ベネッセコーポレーション 広報部 担当: 濱野、坂本、西沢、十河(そごう)
TEL: 042-356-0657 FAX: 042-356-0722

* 今回のレターで取り上げた「アグレッシブエイジの意識に関する調査レポート」は、「にほん日和」サイト内の特設ページ(<http://ltv.benesse.ne.jp/nihon/release/>)にバックナンバーを収録していきます。データ詳細部分を確認されたい、バックナンバーをチェックされたいなどご希望がございましたら、是非一度アクセスをお願いいたします。